

国保みやざき

vol.1



都井岬（串間市）

CONTENTS

01 クローズアップ

- 国保総合システムの次期更改に対する国の財政支援を要請

02 NEWS & TOPICS

- 新規採用職員紹介
- 保険者へ KDB システムの活用研修（実地支援）を実施

03 情報ひろば

- こちら県国民健康保険課です
「特定健診を受けましょう」の巻
- 令和4年度宮崎県国民健康保険団体連合会の組織体制

04 国保連行事予定（5月～7月）

※データコーナーは vol.2 より掲載



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

国保総合システムの次期更改に対する 国の財政支援を要請

令和4年1月28日(金)全国の国保連合会及び国保中央会が一堂に会する全国国保連合会総合調整会議が開催され、国保総合システムの次期更改に係る国の財政支援を求めるため、各都道府県国保連合会及び国保中央会において地方6団体に対する財政支援の要請活動を行うことが決定されました。

これを受け、本会では、2月24日(木)に、宮崎県市長会及び宮崎県市議会議長会、3月1日(火)に、宮崎県町村会及び宮崎県町村議会議長会、3月22日(火)には、宮崎県議会議長及び宮崎県知事に対し、国保保険者に新たな財政負担が生じないよう、十分な財政支援を国が講じることを求める要請活動を行いました。(下記参照)

宮崎県知事
宮崎県議会議長
宮崎県市長会会長
宮崎県市議会議長会会長
宮崎県町村会会長
宮崎県町村議会議長会会長

殿

宮崎県国民健康保険団体連合会
理事長職務執行代理者 宮原 義久

国保総合システムの次期更改に対する国の財政支援の要望について

時下、ますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。

また、本会の事業運営につきましては日頃よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、国民健康保険中央会及び各都道府県国民健康保険団体連合会(以下「国保中央会・国保連合会」という。)が開発運用している「国保総合システム」は、診療報酬等の審査支払及び保険者業務の共同処理を行うなど、国民健康保険運営のための基幹システムであり、令和6年4月に次期国保総合システムの更改を行うこととしておりました。

こうした中、規制改革実施計画(令和元年6月閣議決定)等に基づき、クラウドサービスの利用や、社会保険診療報酬支払基金のシステムとの整合性・効率性の実現を図ることが求められ、当初想定していたシステム開発費及び運用経費を大幅に上回る費用が必要と見込まれる状況となりました。国保中央会・国保連合会では、この費用を自らが保有する財源では賄いきれないことから、結果として国保保険者等に、ご負担をお願いする状況にあり、国保保険者等にとっては、さらに厳しい財政運営に繋がりがかねません。

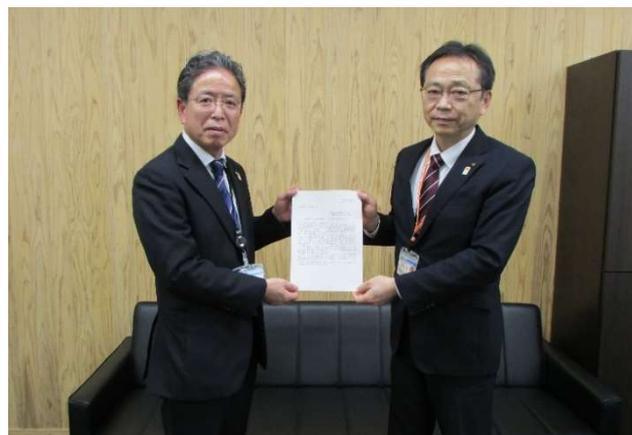
このため、国保中央会・国保連合会は、国保総合システムの次期更改に当たっては、財政が脆弱な国保保険者に新たな財政負担が生じないよう、国に対し関係団体を通じて、国庫補助獲得のための要請活動を行って参りました。

その結果、システム更改に係る初期費用のうち、令和4年度分については、厚生労働省において、約54億円の財政措置がなされたところですが、令和5年度以降についても、多額の財源不足が見込まれる状況であるため、引き続き、十分な財政支援を講じるよう国に求めることとしております。

つきましては、上記趣旨にご理解とご賛同をいただきますとともに、今後の要請活動へのご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。



宮崎県議会議長への要請活動の様子



宮崎県への要請活動の様子

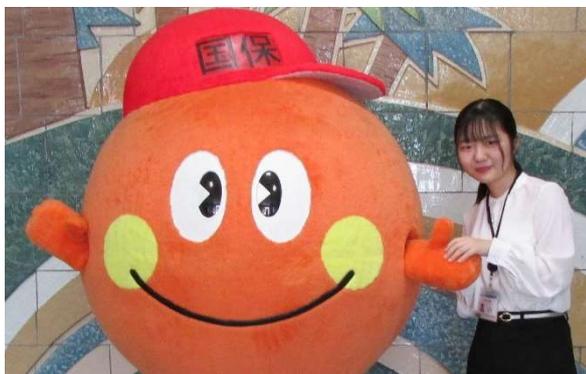
お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係
TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

新規採用職員紹介



保険者支援課 保険者支援係
主任主事 弓削 麻美

今年度より、保健師として入会しました。保健師としての仕事は初めてですが、これまでの経験を活かし、保険者の支援ができるよう日々努力していきます。



情報・介護課 介護福祉係
主事 山下 彩乃

本年度から、新規職員として情報・介護課に配属となりました。まだまだ知識は浅いですが、保険者の皆様の役に立てるよう日々精進していきたいと思っております。至らない点も多いと思っておりますが、これから宜しくお願い致します。

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

保険者へ KDB システム の活用研修（実地支援）を実施

令和3年8月から令和4年3月にかけて、要望のあった保険者に対し、国保データベースシステム（以下「KDB システム」という。）利用促進等のため、本システムの活用研修を実施しました。

本研修においては、本会にて作成したマニュアルに沿って、システムの概要や活用事例の説明、各保険者に設置されている KDB システム端末を使用した実機研修等を行いました。

本研修では、個別に研修することで日頃から抱えている課題や疑問等について意見交換ができ、KDB システムを使用しない職員に対してもシステムを知るきっかけとなったため有意義な研修となりました。

本会といたしましても、引き続き KDB システムの利用促進等に努めてまいります。



実地支援の様子

お問い合わせ先 保険者支援課 保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail: jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

「特定健診を受けましょう」の巻



① ②



③ ④



生活習慣病のほとんどは **自覚症状がないまま** に進行します。

- ・ **定期的に健康診断を受けることで、ご自分の健康状態を知ることができます。**
生活習慣の見直しに役立ち、**深刻な病気を未然に防ぐことができます。**
通院・治療中の方も対象です。
- ・ 健診の受診は、**不要不急の外出ではありません。**
また、各健診会場では**感染症対策に力を入れています。**
- ・ **40歳以上のあなた！**
特定健診を毎年受けて、**健康長寿日本一**  を目指しましょう！



詳しくは、お手元の保険証の発行者まで
(国保の方はお住まいの市町村国保まで)



宮崎県国民健康保険課

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性の皆様へ！ 風しんの追加的対策へのご協力をお願いします

●これから生まれてくる子どもを守るために！

妊娠中の女性が風しんに罹った場合、おなかの中の子どもに下図に示す症状や障害など（先天性風しん症候群）が見られることがあります。



出典 政府広報オンライン HP

皆で風しんを予防することが子どもを守ることに繋がります。
パートナーとのお子さんや地域や職場内での予防のためにご協力をお願いします。



●宮崎県の風しんの追加的対策（抗体検査）実施状況

宮崎県内での実施状況（平成 31 年 4 月～令和 4 年 1 月）	
対象者数※1	112,293 人
抗体検査数※2	24,833 件
抗体検査進捗率	22.1%

健康診断を受ける医療機関や健診機関で、普段の診断項目と一緒に風しん抗体検査を受ける方もいらっしゃいます。
健康診断をこれから受ける方は、ぜひ風しん抗体検査もお考えください。



※1 参考：厚生労働省資料より

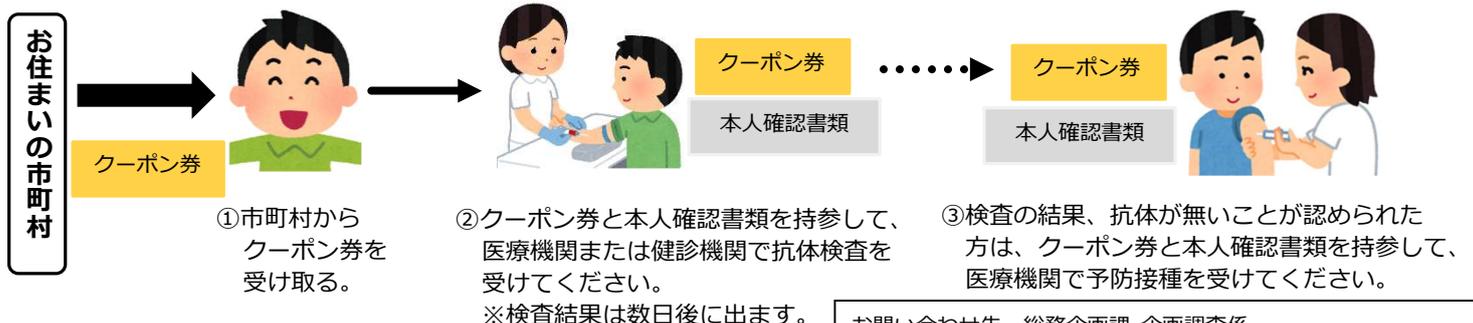
※2 本会確定件数

風しんの追加的対策とは

2018 年に風しん患者として届け出された患者のうち男性が約 8 割を占め、中でも 30 代から 50 代の男性に多いことが指摘された。この原因として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性は、定期接種の機会が 1 度もなく、抗体保有率が低い（免疫が弱い）方が多いことや感染しやすい職場環境に置かれている方が多いなどが考えられる。

そのため、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性に対し、抗体検査、予防接種を実施するもの。

●風しんの追加的対策の受診方法



お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

こくほ随想 医療保険制度は誰のためにあるか

日本年金機構 副理事長
樽見 英樹

短時間労働者への健康保険・厚生年金の適用が進む。今年10月からは従業員100人以上の企業についても週20時間以上の労働者を適用とする（これまでは500人以上の企業）などの改正が施行されることとなっている。このことを先日ある講演の場で話した際、「それは国保を弱体化させることになるのではないか」との質問が出た。パート労働者などの短時間労働者は国保被保険者のなかでは相対的に見れば若くて経済的に安定した層に属し、それを社会保険に持っていくというのは国保の側が財政的に厳しくなることにつながるのではないかと懸念である。

しかし短時間労働者は、国保に入っている人ばかりではない。むしろ健康保険・厚生年金の被扶養者になっている人も多い。そうした人たちを含めて、どのような給付や保険料負担の仕組みを持った保険制度の対象とすることがふさわしいのかという視点から、まず、適用範囲の問題は考えていかなければならない。夫が働き妻は家を守るというモデルが過去のものとなり、就労形態が多様化する中で、勤務や生活の実態が被用者のものであるならば、それにふさわしい給付があり、保険料に事業主負担もある被用者としての制度を適用するのが本筋だということにならざるを得ない。ご指摘は分かるが、医療保険の制度はまずは被保険者のためにあるのであって保険者のためにあるのではないということとは理解していただかなくてはならないという趣旨のことを、もう少し整理の荒っぽい言い方だったけれど、そのとき私はお答えした。

なお、そのときは持ち合わせていなかったが、制度改正が検討されていた当時の医療保険部会の資料によれば、短時間労働者の被用者保険への適用により、国保サイドの財政も実はわずかに改善するとされている。国保の側でも収入のない被扶養者が一定程度脱退すること、対象となる人の収入と国保被保険者全体の平均収入との関係などからそう推計されるということであり、要すれば、これまで様々な手立てが取られてきた国保の財政対策の中で受け止められるような構造にはなっているということだ。

私は厚生労働省を昨年秋に退き、今年から日本年金機構に勤務している。制度を企画する立場から保険者として実務を運用する立場に移ったことになるが、そこで改めて感じるのは、運用できない制度は絵に描いた餅にすぎないということだ。制度の趣旨を具体的な効果ある形にするためには、制度の立て方から日々の運用方法に至るまで様々な整理や工夫が必要で、その後者のことがともすれば軽視されすぎてきたことがなかったかとも、これまでの自らの公務員生活を振り返って反省する。

最初の問題に戻ると、この問題は薬の作用と副作用の関係と似ていると思う。被保険者の給付や負担に関して保険者の運営に生ずる問題は「副作用」ということになるかも知れないが、だからといって軽視してよいということにはならない。薬は効いたが患者は死んだ、のでは元も子もない。しかし、同時に、保険者の安定的な運営の確保も、もともと制度が被保険者のためにしっかり機能するようにするためだということとは忘れてはならない。

このバランスを取りながら進めることが、難しいけれど大切なのである。

こうしたことを考えながら、今は年金制度の運営を誤りなく進めることができるように日々一つ一つの問題に対処するのが私の仕事である。

これまで本欄を担当されてきた歴代の皆さん方に比べれば見識不十分と言わざるを得ないのを恐れているが、かつて制度を企画する側に身を置き、今はそれを実務として運用する側に

いる者として、社会保障や医療保険をめぐって皆さん方に何がしかお役に立つことをこれから月に1度、綴っていければと思っている。どうかよろしくをお願いします。

(記事提供 社会保険出版社)

【プロフィール】

樽見 英樹
(たるみ ひでき)



生年月日 1959年11月21日

日本年金機構 副理事長

【学歴】

1983年3月 東京大学法学部卒業

【職歴】

1983年4月 厚生省入省

1993年5月 在米日本国大使館一等書記官

1998年4月 北海道保健福祉部高齢者保健福祉課長

2004年7月 総務省行政管理局管理官

2008年7月 社会保険庁総務部総務課長

2012年9月 厚生労働省大臣官房人事課長

2013年7月 厚生労働省大臣官房年金管理審議官

2016年6月 厚生労働省大臣官房長

2018年7月 厚生労働省保険局長

2019年7月 厚生労働省医薬・生活衛生局長

2020年3月 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長

2020年9月 厚生労働事務次官

2021年10月 厚生労働省退官

2022年1月 日本年金機構 副理事長



令和4年度宮崎県国民健康保険団体連合会の組織体制

課	係	事務分掌
総務企画課	総務財政係	理事会・通常総会等の会議に関すること、予算の執行管理、職員の服務、給与、福利厚生等に関することを行う。
	企画調査係	国保連事業の企画立案、経営計画、広報、トップセミナー（市町村長の視察研修）に関することを行う。
	出納係	各会計の歳入歳出決算に関することや、財産および備品の管理に関することを行う。
審査第1課	審査管理係	審査委員会に関することや、医療機関申出再審査、風しんの追加的対策、新型コロナウイルスワクチン接種事業に関することを行う。
	高額審査係	高額審査事務処理に関することや、特別審査委員会の事務処理に関することを行う。
	審査第1係	医科レセプト審査事務処理に関することや、国保請求支払システムに関することを行う。
	審査第2係	医科レセプト審査事務処理に関することや、後期請求支払システムに関することを行う。
審査第2課	歯科・支払調整係	審査委員会(歯科部会)、歯科レセプト審査事務処理に関することや、診療報酬の支払決定に関することを行う。
	療養費・調剤審査係	療養費全般に関することや、調剤レセプト審査事務処理に関することを行う。
保険者支援課	保険者支援係	ヘルスサポート事業他健康推進事業、KDBシステム、保険者努力支援制度の取組強化、レセプト点検事務共同事業、特定健診・特定保健指導、国保診療施設協議会に関することを行う。
	求償係	第三者行為求償事務共同事業に関することを行う。
情報・介護課	情報管理係	共同電算処理事業や、国保事務処理標準システムに関することを行う。
	介護福祉係	介護給付費等の審査・支払、障害者総合支援、障害児総合支援給付費の審査・支払、介護サービス利用者および家族からの苦情・相談に関することを行う。

令和4年度も本会をよろしく
お願いします。



お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係
TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

国保連行事予定（5月～7月）

●5月

日	曜	行事	場所
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
13	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
20	金	国保審査委員会（～24 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
24	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●6月

日	曜	行事	場所
10	金	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
16	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
18	土	国保審査委員会（～22 日）	国保連 本館 4 階大会議室
20	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
22	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
23	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●7月

日	曜	行事	場所
9	土	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室
10	日	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
14	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
16	土	国保審査委員会（～21 日）	国保連 本館 4 階大会議室
19	火	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
21	木	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
22	金	理事会・通常総会	国保連 本館 4 階大会議室
26	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

国保連行事予定

オレンジくんの新型コロナウイルス感染症対策



手洗いをしましょう

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

顔が大きいオレンジくんも第7波対策に大きいマスクで感染対策をとっています。



咳エチケットを行いましょう

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ・周囲の人からなるべく離れます。



「3つの密」を避けましょう

- ・換気の悪い密閉空間
- ・多数が集まる密集場所
- ・間近で会話や発声をする密接場面

参考：厚生労働省ホームページ

イベント用機材等の貸し出し

市町村の皆さまが実施する健康まつりやイベントなどで活用できます。
詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

貸し出し品一覧

- オレンジタイム DVD
- オレンジくん着ぐるみ
- 体組成計
- もの忘れ相談プログラム
- ライフコーダEX（生活習慣記録機）
- チェッカーくん（足指力測定器）
- マイクロCOモニター（呼吸ガス分析装置）
- 健康パネル
- のぼり
- はっぴ
- テーブルクロス
- ロールアップバナー

皆さんのまちへ、
ボクを呼んでください！



宮崎県国民健康保険イメージキャラクター
「オレンジくん」

**Orange
Smile**
オレンジスマイル

ささえる。
つながる。

国保みやざき vol.1

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

<https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp>

国保はみんなの健康づくりを応援します。

